

森林 レンジャー がゆく (10)

大木が育つ

あきる野

深沢で、胸高幹周7.8メートルのスギを確認しました。以前から、この辺りにスギの巨木があると聞いていたので、今回、地元の方の案内でたどり着くことができました。場所は「深沢・山抱きの大榎」の近くで、深沢川をはさんだ対岸の沢を30分ほど入ったところの、谷のどん詰まりの尾根の

下、カール状地形の中央部にそびえています。樹高は、目測で45メートルほどのさほど高くない、ずんぐりとした感じのスギです。そのため、梢が周りの森から極端に飛び出していないため、外部からなかなか確認することができませんでした。このスギの醜味は、谷側の根張りが立派で、地表に露出している部分だけでも2畳分ほどの広さがあり、巨木好きにはたまらない迫力です。このスギは、幹周が8メートルありますが、元は2本のスギが合わさって1本になったように見受けられます。単木でこの太さがあれば寺岡の五柱神社の

大スギに近い樹齢(推定500年)になります。2本合わさった感じ、樹齢200年から300年くらい若い(?)スギだと考えています。そのスギの生育ぶりはすこぶる良好

で、これから100年、200年先が楽しみです。以前にも、落合の八幡神社のスギを「森林レンジャーあきる野新聞」で紹介しましたが、秋川と多摩川に挟まれたこの一帯は、スギの巨



木が多くあると思います。御岳神社の山道、光明山頂、寺岡の五柱神社、落合の八幡神社、横沢の大悲願寺などスギの大径木がたくさんあります。

深沢は、江戸城の建設に木を切り出して提供していたことや、その後も秋川を利用(いかだ流し)して、10数年おきに大火に見舞われた江戸の町に用材を提供して支えた、歴史ある林業地帯です。これは、スギの生育適地と考えると合点がいきます(このスギを見るには個人のお宅の庭を通るため、現在、ルートを考案中)。

杉野二郎